

米国カリフォルニア州 核果類は好調、ブドウは下方修正

[FreshPlaza](#) 2024年9月5日

今年はカリフォルニア州産の核果類の量が多く、出荷シーズンは昨年に比べて大幅に長くなると予想される。マウンテンビュー果実販売会社(MVFS)のボー・ブレット氏は、「今年は過去3年間よりも好調で、平均に近い」と言う。オフシーズン中に追加の園地を取得したため同社のシーズン序盤の供給量が増え、一方、カリフォルニア州では、過去2年間にシーズン序盤の出荷量を減らした寒波の影響を受けなかった。同社はさらに、今年はシーズン後半の事業がはるかに大規模になることを期待している。同氏は、「シーズン後半の果実は、天候に恵まれ、9月中または10月上旬まで収穫できるはずである。これは、ハリケーン・ヒラリーによって後半の事業が実質的に全滅した昨年とは全く逆である。シーズンの最後には、黄肉のモモとネクタリン、赤と黒のスモモが十分に供給できる」と説明した。

より好ましい生育条件の結果として、多くの品種が今シーズンはるかに良い成績を収めている。同氏は、「8月は既にずっと良くなっている。過去2年間のような雨が降らなければ、9月もずっと良くなるだろう。弊社では、白肉のモモとネクタリンはすぐに終わるが、赤と黒のスモモは10月中旬まで出荷できる」と話す。黄肉のネクタリン品種の収穫は今後2週間続き、黄肉のモモは10月初旬に終わる。

シーズン後半の事業予定

同社はシーズン後半の事業のために、黄肉のモモとネクタリンの新しいブランド「オータムライブ」を立ち上げた。この事業で栽培された果実は、シーズンを通して樹上で育まれ、独特の甘みとジューシーさを得ることができた。オータムライブのモモとネクタリンは9月から10月上旬まで出荷される。

全体として、良好な核果類のシーズンであった。ブレット氏は、「降雹に見舞われた園地もあり、7月の熱波も一部の出荷に影響を与えたが、多くの果実を出荷することができた。果実は良好な糖度で非常に食味が良く、その結果、需要が高まっている。シーズンの残りの期間も味の良い果実を出荷し、最終的には良好なシーズンになっていると思う」とコメントした。

生食用ブドウの出荷予測はわずかに減少

核果類は出荷シーズンの最終段階にあるが、生食用ブドウはまだシーズンの中間点に達していない。今シーズンのカリフォルニア州産生食用ブドウの出荷量予測は、同州が7月に経験した過度の暑さのため、当初の予想値から引き下げられた。ジョージ・マトイアン氏は、「冬と春の降雨量は平均的であったが、サンホアキンバレーの7月の暑さは記録的であった」と述べている。当初の予測では、同州では今シーズン9,450万箱を梱包する見込みであったが、これは9,200万箱に引き下げられた。同氏は、「早生品種の一部の出荷量は、熱波による損傷の影響を受けた。この傾向は残りの品種にも及ぶと思うが、箱に収まる最終的な果実の品質には大変満足している」と言う。

国内外からの需要

ポジティブな点としては、需要はあらゆる面で安定しており、同社の販売チームはそれが秋まで続くことを望んでいる。カリフォルニア州のブドウの60~65%が9月1日以降に収穫、梱包、出荷されるため、最盛期が近づいている。

マトイアン氏は「弊社では現在、今年お勧めの緑色ブドウ品種、スイートグローブ™を収穫している」と話す。現在収穫されている赤ブドウはアリソン™、ティムコ™、スカーレットロイヤルで、農務省の新しい種なし黒ブドウ品種であるソルブリオもこの時期に収穫されている。同社のブドウは、全米のチェーン店や卸売業者に流通している。さらに、同社は現在、台湾、ベトナム、日本、マレーシア、香港、シンガポール、コスタリカ、エクアドル、メキシコ、及びカナダ全土に輸出している。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)